

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

協働的な学び

- ・映像を2画面にして過去の自分と今の自分の映像を見ながら友だちと技のできばえを伝え合う。
- ・電子黒板を用いて、自分の映像を見せながら、振り返りのポイントに沿って考えたことを発表する。



☆カメラを使い自分の技を撮影したものを見ることで、学びへの意欲が高まり、課題を客観的に理解する手助けになった。

学校全体としての取り組み

- ・授業を振り返り、ジャムボードを活用して研究協議を行う。（全体授業）
- ・研究協議後、これからのICTを活用した授業づくり、リーディングDX戦略アドバイザーより指導助言
 - ①体育科における一人一台端末の活用場面
 - ②授業のねらいを達成させるためのポイント
 - ③情報活用能力の活用の観点から（なんのために伝えるのか）

☆教科の特質に応じ、ICTを利活用した場面設定を意識することが大切である。